

01 越谷市のバージョンアップに向けて、県政への挑戦を検討！

「新しく住む人も古くから住む人もともにふるさとと呼べる越谷」を目指し、共働き子育て家族が安心して子どもを産み育てられる環境づくりや、埼玉県東南部100万人を見据えた未来への投資と基盤整備などの方向から、3期12年市政に取り組んできました。

しかし、今後の人口減少に打ち勝つ社会を築くためには、市政の枠組みでは解決できない課題が多くあります。このため、共働き家族と地元で頑張る事業者応援の旗印のもと、政策の一層の深化を目指して県政への挑戦を検討します。

02 自ら取り組む 地域貢献事業の継続発展!!

◆2016年に仲間と立ち上げた越谷プロデュース研究会。コロナ禍でも越谷の文化の灯をともし続けるため、越谷サンシティ、こしがや能楽堂、北部市民会館などで地元ゆかりの演奏家や落語家とともにコンサート、寄席を開催してきました。

◆越谷麦味噌復活プロジェクトでは、越谷技博で「初めての麦味噌仕込みワークショップ」を3年連続で開催し、熟成に向け好評継続中です。

◆こしがや「まち未来創造塾」では伝統工芸チームに参加し、越谷だるまの普及に3年間取り組みました。「越谷創作だるまコンテスト」や「小学生!越谷だるまアートコンクール」を立ち上げ、伝統工芸の活性化を進めました。

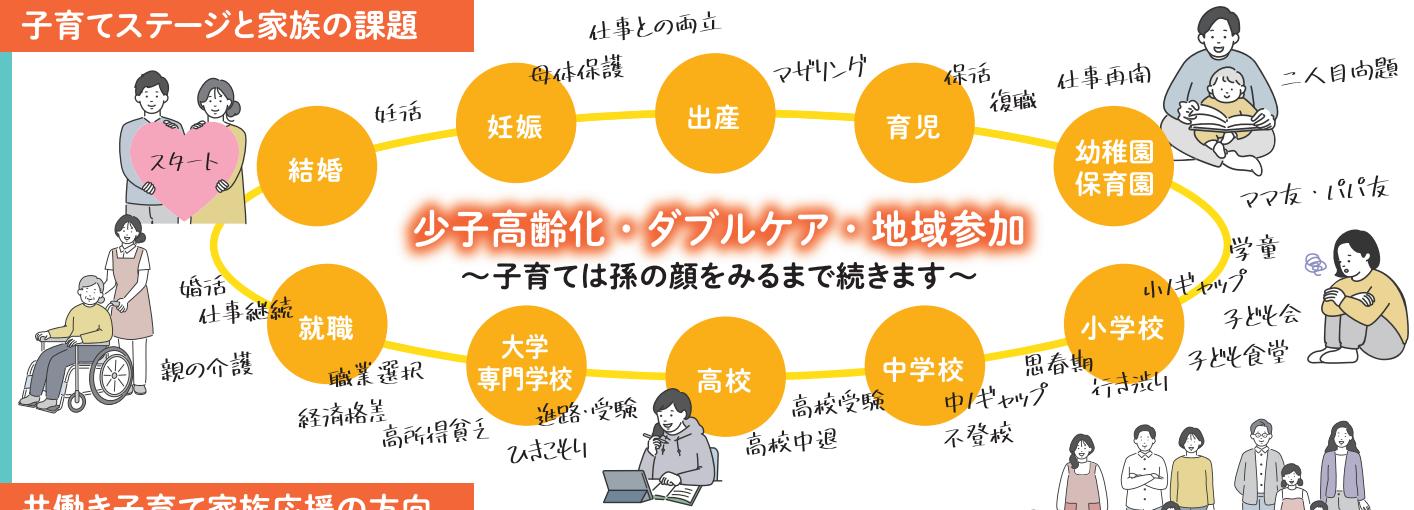
03 夫婦で政治チャレンジ!!!

以上を踏まえ、このままでは人口減少で崩壊する日本社会を変えるため、妻とともに、これからも、ひたむきに懸命に、越谷から家族が暮らしやすいまちづくりにチャレンジします。

ご入会よろしくお願いします

越谷から、人口減少に立ち向かおう！

子育てステージと家族の課題



共働き子育て家族応援の方向

01

共働き子育て家族を社会全体で応援する体制を築く

独身やシングル子育て家庭が増加し、様々な支援が行われている一方、社会を支える共働き子育て家族の相対的な負担が増している。子育て施設や仕組みづくりにより、親の負担軽減と時間の創出を図り、共働き子育て家族を社会全体で支える仕組みづくりを進める。



02

保育料、学費など教育費を支払う親の負担を軽減する経済支援策を導入する

親世代の可処分所得は、子ども関係費の有無により著しい格差が生じており、子育て家族では一人の子どもで限界という意識を生み、少子化の一因になっている。

03

自己実現のみを追求する教育から、家族や地域社会を支えつつ自己実現を両立する教育に方向転換を図る

家族や地域社会を支えることを負担に感じる意識が拡大している。家族や地域を支えながら自己実現を両立する人生モデルを教育から浸透を図り、社会の担い手づくりを進める。

人口減少時代の家族を応援する会

「人口減少社会の家族を応援する会」がLINE公式アカウントに登場！無料でお得な情報を受け取るには、以下の二次元コードから友だち追加してください。



代表 大野 やすし 080-3300-8100
事務局長 大野 きょうこ 090-4825-1785
〒343-0806 越谷市宮本町1-94-3

